

学校だより

児童数：623名 (男：343名 女：280名)

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



トップアスリートのコーナー 掲示

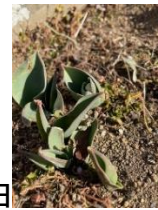
心を整えて 新学期に備える・・・。



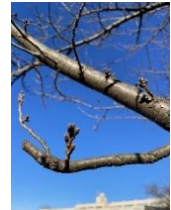
校長 戸野塚 晃

最強寒波到来というフレーズがこの冬に一体何回、メディアから飛び出したことでしょうか。この寒波は私たちのようにさいたま市という比較的雪とは縁が少ない地域においても、少なからず影響を与えています。まして、日本海側を中心とした雪国地方の方々の日々のご苦勞を考えますと、頭が下がります。安心した春が迎えらるることを祈るばかりです。

さて、右の画像をご覧ください。撮影日当日の朝は、雲一つない快晴、気温は3℃。指先は凍え、ついポケットに手を入れて歩きたくなるほどの寒さの中でしたが、校内の植物たちは、少しずつですが足音が聞こえてくる春の訪れのための準備を着々と進めていました。自然界では、月日が迫れば、本能の力もあり次へのステップの準備を始めます。しかし、我々は、3月を迎えれば、誰もが見通しをもち新学期の準備を計画的に進められるわけではありません。4月のスタートは同じでも準備のスタートは人それぞれ違うものです。まずは、自分の1年間を振り返り、課題を確認し、しっかりと目標設定をしていただきたいのです。その目標は、学習とは限りません。個々の意欲を掻き立てるもの、目指したいもの、好きなこと、どんなことでも、前向きになれるものならそれはすばらしい目標です。なにかとざわつき落ち着かなくなる時期ですが、心を整えて新学期に前を向いて課題に取り組んでいけるように、ご家族の皆様のお声掛けをぜひお願いいたします。



春を待つチューリップ



春を待つさくらのつぼみ



フサザキスイセン



梅の花



ホトケノザ

新たな目標に向かって進むことの大切さは、先日の45周年記念式典でお呼びした本校の卒業生でもあるパリパラリンピックのゴールボールの金メダリスト金子和也選手もお話をされていました。

金子選手の講話

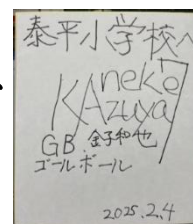
誰でも最初から上手で成功してる人はいない。自分も最初は、どうしていいかわからないぐらい気持ちが落ちていた。

どんなことでも、どんなものでもいい。好きなものを見つけて、あきらめないで続けてほしい。それが自分には、たまたま親に連れて行ってもらったゴールボールだった。

失敗しても悪いことではない。負けてもくじけても悪いことではない。逆にそれは、次にどう進めればいいのか考えるきっかけになるわけだから。失敗を恐れることの方がよくないんだよ。(以下、略)



金子選手の件メダル



寄贈していただいたサイン

地域の皆様、保護者の皆様、PTA、学校運営協議会の皆様、今年度も本校の教育活動に対しまして、深いご理解、ご支援いただきましたこと感謝申し上げます。厳しい寒さを乗り越え、来年度の春には全ての児童の一步成長した姿に期待しています。そのための、教育環境作りを職員一同、全力で取り組んでいく所存です。今後の学校での教育活動の充実も含めまして、地域、保護者の皆様の引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。